

特集

術後制限のない股関節機能の獲得へ
～当院での人工股関節置換術について～

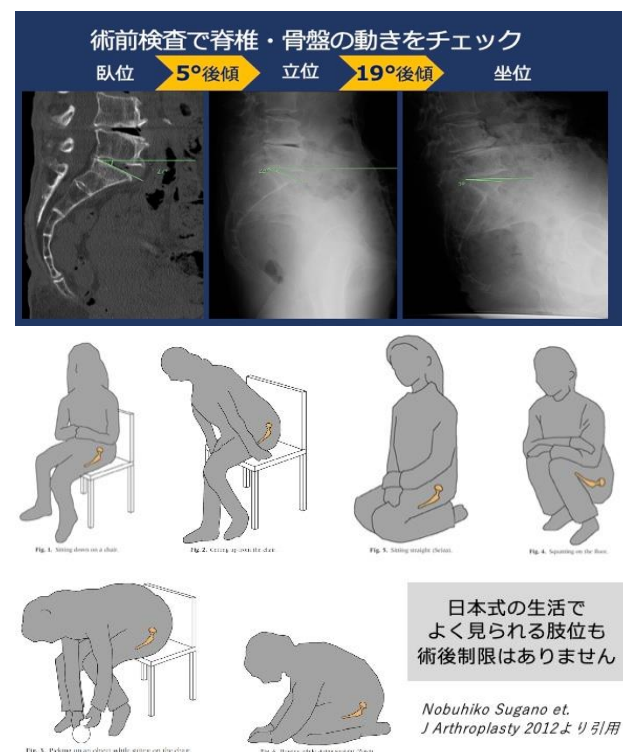
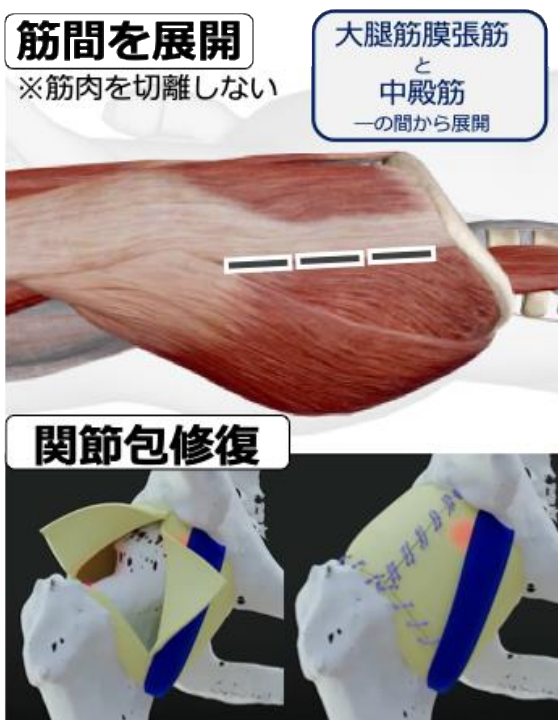
近年、人工股関節置換術(THA; total hip arthroplasty)は手術手技やインプラントの改良、術前計画ソフトの開発等により長期成績が向上し、全国的にここ 10 年で8倍ほど症例数が増加しています。元々THA は後方アプローチが主流であり、後方の筋群を切離するため、日本式の生活でしばしば必要とされる、正座や和式トイレに座る等の深い屈曲肢位は脱臼肢位として禁止される傾向にありました。しかし実際には脱臼リスクは手術アプローチにも大きく関係し、脱臼頻度は後方系アプローチで1～9.5%、前方系アプローチで0～1%と報告されています。

当院では前方系アプローチの中でも中殿筋・大腿筋膜張筋という筋肉の間から侵入する前外側アプローチ、またそれを仰臥位で行う ALS(antero-lateral supine)アプローチを採用しています。筋肉だけでなく、関節包も切開後に修復し、筋腱/軟部組織温存を重視した手術を行っています。また、術前に患者様の脊椎・骨盤の動きも確認し、適切なインプラント設置角度を3次元術前計画ソフトで計画・手術時に再現できるようにしています。これらから、当院ではTHA 後の禁忌肢位は設けておらず、またジョギング、登山、スイミング等のスポーツ活動についても制限しておりません(他者と接触/転倒による骨折のリスクのあるコンタクトスポーツは控えて頂いています)。

患者様が人工股関節の存在を忘れてしまうような手術を理想とし診療にあたっています。股関節関連の症状にてお困りの患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談下さい。

股関節外来： 中村 光志 毎週水曜日午前診察

【 担当： 整形外科 中村 光志 】



医師異動のお知らせ

新 任（令和7年4月1日付け）

・内科	ひづめ 肥爪	かいと 海斗	医師
・外科	すずき 鈴木	みのる 実	医師
・整形外科	うえまつ 植松	しゅんいち 駿一	医師
・整形外科	きりのき 桐木	けんたろう 健太郎	医師
・精神科	もちづき 望月	ひでき 英樹	医師
・家庭医	かねだ 金田	しゅん 舜	医師

退 任（令和7年3月31日付け）

・内科	山田 健太	医師
・外科	臼井 佑希	医師
・整形外科	佐藤 良祐	医師
・整形外科	栗原 亨高	医師
・泌尿器科	鈴木 泰介	医師
・精神科	能宗 新	医師

合同カンファレンスの報告

令和7年1月29日（水）に第25回菊川市立総合病院・市立御前崎総合病院合同カンファレンスを開催しました。病院や医師会などから43名の参加がありました。

当院からは、外科 臼井 佑希 医師が「胃原発胎児消化管類似癌の2例」という演題で発表しました。会場からの質問も多数あり活発な意見交換ができました。

次回の詳細が決まりましたら、ご案内させていただきますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。



診療実績

○受託検査実績

項 目	1月	2月
C T	45 件	37 件
M R I	41 件	47 件
超音波検査	16 件	11 件
その他検査	8 件	6 件

○診療実績

項 目	1月	2月
紹介患者数	301 人	304 人
逆紹介患者数	300 人	270 人
1日当り 患者数	入院 186.5 人 外来 555.0 人	199.8 人 531.4 人
病床利用率	71.7 %	76.8 %
救急搬送件数	153 件	95 件

【 発 行 】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL : 0537-35-2344 Eメール : renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX : 0537-35-2843 ホームページ : <http://www.kikugawa-hosp.jp>



©菊川